

マッブーと一緒に 松伏音頭を踊りましょう

Let's
盆踊り



町では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イベント等の開催を中止せざるを得ない状況が続いています。今年の夏は、新しい生活様式を取り入れ、熱中症にも注意しなければいけません。例年とは違う夏ですが、世代を超えて楽しめ、後世に語り継いでいきたい松伏の文化の一つ「松伏音頭」を紹介します。

松伏音頭は、松伏町制施行10周年（昭和54年）を記念して制作され、町民の皆さんから募集した詩を使用した歌と踊りです。当時、運動会の種目としても披露され、子どもから大人まで幅広く踊られていました。その後、松伏音頭をよさこい風にアレンジした「まつぶし音頭21」が登場しました。

盆踊り スタート

前奏
4呼間待ち
踊り始める

胸前で手拍子 チョンチョン

1
2

右足を出すと同時に右手
を前に伸ばし、左手は右
二の腕に伏せのせる

3
4

反対くり返し

右足出すと同時に
両手伏せ伸ばし

5

左足つま先を床にトン
としながら、同時に右
顔横で手拍子チョン

6

反対くり返し

16

左足を出すと同時に両
手の平を上に向け輪を
つくる。右足を左足に
揃え、1に戻る

15

上がっている右足
を前に下すと同時
に両手両ももに伏
せた叩き

外に向かつて右足から三
歩進み四歩目左足トン、
両手を上げ稲穂がゆれて
いるように右へ

13
14

反対くり返し

11
12

両手こぶしにして、前に
伸ばし引き、押し（船をこ
ぐ振りながら、右足から
二歩進み三歩目一足

9
10

出している右足を左足に揃えな
がら、両手をほほに添える

8

松伏音頭
振付 出雲 松扇
歌 大川 榮策
わかばちどり

松伏音頭

津田 むろ 作詩
船村 徹 補作詩
船村 徹 作曲
栗田 俊夫 編曲

一、春はナア チョイトナア
まつぶしめいしよ ふるとねがわ
松伏名所の 古利根川で
きよ なが みずも
清い流れの 水面にゆれる
ほそ つりいとかせ
細い釣糸風まかせ
ササラ ササラ

二、夏はナア チョイトナア
まつぶしおんど
松伏音頭を みんなで踊ろう
あんた若いね いくつになつた
あたしや今年で 還暦だ
ササラ ササラ

三、秋はナア チョイトナア
まつぶし
松伏 田どころ稲穂がまねく
す あおぞら くつき
澄んだ青空 空気がうまい
これが本当のふる里だ
ササラ ササラ

四、冬はナア チョイトナア
まつぶしへいわ
松伏平和に 今年もくれる
みせれふ きたかせふ
雪降ろうが 北風吹こうが
町にや人情の湯気がたつ
ササラ ササラ